

取組内容		概要
1. こども・若者の意見の施策への反映	(仮)こども・若者モニター会議《登録制》	<p>【目的】こども・若者が市の施策に対して意見を言える機会を確保し、プロセス段階から主体的に関与し、対話を通じて施策へ反映させる</p> <p>【内容】こども・若者の意見を聴取する必要がある事業や取り組みについて、担当課職員が参加して意見交換を行う</p> <p>【実施回数】年間4回程度を想定</p> <p>【参加者募集】5月号の広報誌</p> <p>【参加対象者】小学4年生から29歳までのこども・若者</p>
	市の付属機関へのこども・若者枠の設置	こども・若者に関する施策の調査、審査、審議等を行う市の付属機関は、こども・若者を委員として会議に参加させることなどを通じて、こども・若者の意見を施策に反映させる
2. 条例の周知及び啓発	キックオフイベントの開催	<p>【目的】条例を多くの市民に周知することで、条例の内容の理解を深め、こども・若者が安心して意見を表明でき、その意見を尊重する意識の醸成を図る。</p> <p>【内容】こどもから大人まで幅広い年代の市民が集うイベントを開催</p> <p>【実施時期】7月～8月(こども・若者が参加しやすい夏休みを予定)</p> <p>★企画段階から当日の運営まで「こども・若者による意見表明の条例検討部会」の参加者に携わっていただく予定 (参加は任意とし、3/29に開催する第5回でお知らせする)</p>
	庁内向け周知啓発・人材育成	<p>職員向け説明会・幹部職員の会議など</p> <p>○庁内向け条例運用ガイドライン ○逐条解説 ○概要版パンフレット</p> <p>○(仮)こども・若者モニター会議への担当課としての参加やテーブルファシリテーターとしての参加など</p>
	関係機関への周知啓発、研修・説明会	<p>○小学校、中学校、県立高校、特別支援学校 ○就学前教育保育施設</p> <p>○留守家庭児童育成クラブ ○自治会、コミュニティ組織</p> <p>○子育て関係団体 ○保護者 ○社会福祉協議会</p> <p>○主任児童委員 ○こども食堂 など</p>
3. こども・若者の意見聴取	意見聴取の窓口 権利擁護の窓口	<p>・意見提出フォーム等から気軽に提出できる仕組みを検討する</p> <p>・4月からはこども政策課の窓口にて意見聴取を実施</p>
	施設等への訪問	・学校等へ出向いて、こども・若者から直接意見聴取を行う
	声を聴かれにくいこども・若者への意見聴取	<p>・学校へ案内する時に学校へ来ていないこどもへの案内</p> <p>・オンラインミーティング等の実施</p> <p>・意見を汲み取るツール、アウトリーチなど</p>